

ロシア生活

情報文化学科 2年 金塚孝亮

☆はじめに

私は、最初留学に行こうか悩んでいました。国際情報大学に入学した当初は、留学に行くことは考えていませんでしたし、ロシア語を言語選択で選ぶことも考えていませんでした。考えていなかったのにロシア語を選んだのは、ロシアのキリル文字に興味をわき、知らない言語を勉強してみたいと思ったからです。そして、留学に行くかどうかは、本当に留学の申し込みぎりぎりまで悩んでいました。お金も相当かかりますし、なにより全く知らない異国の地で同じ学校の生徒と一緒にといえども一人暮らしをしたこともないので、四か月の長い期間しっかり炊事、洗濯などの家事をしながら、他の海外からの留学生たちやロシアの人たちと交流もし、ちゃんとした生活をロシアで送れるかのどうかという心配がありました。しかし、こういったことで悩みながらも留学に行くことを決めたのは、せっかく知らない言語を学ぶのだからその国へ行って学びたいという気持ちもありましたが、もっとも大きな目的として、自分自身を少しでも変えることができるかなと考えていました。私は、人の前で話をしたり、自分の意見を積極的に出したりするのが苦手で、意見を出したり、話をしたりするとき人に目を気にしすぎていると感じながらもなかなか直すことができませんでした。外国人は、私の勝手なイメージですが、意見を出したり、話をしたりするとき人の目など気にせず自分自身を出していける人が多くいるのではと考えていました。そういった人たちを関わっていけば自分自身もその影響を受けて少しでも変わることができるのではという思いがありました。そして、自分自身でも変われる様に異国の地で日本語が通じないという状況に置けば、いやでも自分の意見をロシア語で伝えなきゃいけないことがあると思いました。このことを考えるようになったため今回のロシア派遣留学に行くことを決めました。

☆授業について

ロシアでの最初の授業は、日本人の留学生だけでロシア人の先生から授業を受けていました。日本人留学生とは、留学前も一緒にロシア語の授業を受けてはいましたが、ロシアなので当たり前なのですが基本的に日本語を喋れない先生ですので、やはり一緒に授業を受ける生徒は一緒にといっても日本語が通じないというだけで緊張していました。授業を受け始めて一番最初に驚いたことは、長文です。英語でも長文があるようにどの言語にも長文というものがあると思います。日本で受けていた授業では短い文をいくつか並べたものを訳したりはしていました。ロシア語の長文をこのときはじめて目の当たりにしました。

すべてロシア語の教科書を配られ長文を見たときは、こんなの理解できるのかと心配になりました。授業は、一つ 90 分で一日普通は二つか三つあり、多いと四つの場合もありました。授業内容は、長文に関する問題を解いたり、文法、日常会話、リスニング、地理、歴史などがありました。どの授業も最初は先生が言っていることがわかりませんでした。授業が進んでいくうちにところどころの単語で少しは分かってきました。しかし、宿題の場所がわからずどこをやればいいのかなど友達と悩んだり、相談したりもしました。特に地理と歴史は、他の授業と違い内容自体が難しくあまり日常会話では使わない単語が多く出てきて授業中はとても苦戦しながら受けていました。宿題も長文や歴史は、訳するのが多くて、訳した後も問題を解かなければいけないので慣れるまでは時間に追われながらしていました。ちょうど時間に追われながらやっていた宿題に慣れ始めたころの9月15日から、今までずっと日本人だけで授業を受けていましたが、次からは3クラスに分かれて1クラス6人でほかの留学生と授業を受けるということになりました。音楽、美術、歴史、地理はそのまま日本人だけで授業を受けていました。私のクラスは、日本人6人、中国人が4人、韓国人が1人、フィリピン人が1人、そして時々くるベトナム人が1人いるというクラスでした。最初の授業が始まる前はロシアで初めて受ける授業以上に本当に朝から緊張していました。授業が始まってもなかなか緊張も取れなく、その影響もあってかあてられる以外で自分の答えをいうことをなかなかできませんでした。ほかの留学生たちは、私たちが来る前よりロシアにいた人がほとんどでしたが、クラスの中にはまだ学び始めて三か月の人もいましたが、初めて三か月のその人は、私と違い積極的に自分から意見を出したりし、他の生徒や先生ともロシア語で意思疎通がちゃんとできていてやっぱりロシア語を学ぶならロシアがいいと改めて思い、見習いたいなとも思いました。それから授業をしていくうちに、途中日常会話と歴史の授業で、自分たちでパワーポイントを使って、日常会話では、自分の国の有名人で家族全員が有名人を紹介し、歴史では自分で歴代のロシアの統治者を選び紹介する授業を二回ほどしました。一度だけ雪と風がものすごい強く、その日の授業がすべてなくなったこともありました。もちろん派遣留学とはいえ学期の終わりにはテストがあります。みんなロシアではどのようにテストをするのかわからず、日本と同じ様な形なのか、それとも全く違うのかと心配していました。なので、先生にどのようなものなのか質問したりして奔走していました。いろいろなテストの情報ができてさらに悩んでしまったということもありました。しかし、留学に来ていた全員が無事にすべての科目を合格していたのでよかったと思います。

☆日常生活について

まずは、食事についてです。寮から教室までは歩いて5分程度で着きますが、基本的に、平日の朝は授業が始まるのが早く、作る時間がなく、シリアルや買っておいたサンドイッチなどを食べていました。お昼は学校の中にある食堂で食べたり、ロシアのスーパー

でも日本製や韓国製、ロシア製などのカップラーメンが売っているのでそれを買って食べたり、学校の近くに屋台があり、大体はそこでホットドッグやピロシキ、ハンバーガなどを買って食べていました。夜は、部屋の人と一緒に作ったり、別々に作ったり、いくつかの部屋で作ったりと、自炊していました。休日などは出かけたついでにみんなでどこかに食べに行こうとなったりして外食になることもありました。外食は、寮から少し行った先に韓国料理屋さんや中国料理屋さん、カフェなどもあり、出かける際は центр に行くのでそこでパスタなどを食べたりしていました。

買い物は、留学の初めてのころに森さんに案内してもらったスーパーや自分たちで見つけた近くのスーパー、バスに乗って центр でやっている市場などに行っていました。来た当初は、案内してもらった「5+」というスーパーに行っていました。初めて行った時、まず目についたのがどのスーパーでも同じですがどこのレジの店員さんも立って仕事をしたりし、イスに座ってレジ打ちをしていました。少しうらやましいなと感じました。留学前にレジで大きなお金を出すと小銭はないのかと言われると聞いていたので少しドキドキしながらレジに入り、小銭はないのかと聞かれ、戸惑ってしまい財布の中身を見せることになってしまったこともありました。小さいお店だとお店側にお釣りがないことがあるのでお金の代わりにガムなどをもらうと聞きましたが、そういうことは経験しませんでした。

スーパーには、日本製のものも高いですが多くありました。カップラーメンやお菓子など売っていました。そばやうどんなども日本製ではないですが売っていて、めんつゆも売っているのでご飯を簡単に済ませたい時などは重宝しました。

市場では、野菜など安く売っていますが、買うのがなかなか難しかったです。市場では菓子パンを売っている店が多かったのですが、とてもおいしいものが多かったのです。

ロシアでの移動手段ですが、バスと徒歩でというのがほとんどでした。バスは日本と違いとても安く距離で値段が変わるわけではなく、どこまでいっても値段は一律で 18 ルーブルで驚きました。いつバスが来るかなどの時刻表がないのでとりあえず来たバスに乗っていました。電車は、学校の行事で遠足のような形で留学に来ている生徒全員でバーベキューに行く際一度だけ乗りました。駅に改札などはなく、車両内で回ってきた駅員さんに切符を渡し、確認してもらおうという形でした。また今度ロシアに行くときはぜひもっと電車に乗って遠くまで行ってみたいと思っています。

休日は、ほとんど出かけていた気がします。一緒に来ている留学生と центр に行って買い物をしたり、適当に歩いて散策したりしていました。



市場は、土日にやっていることが多いのでよく行っていました。同じクラスの人と話すようになり、仲良くなったところに家に招待されました。違うクラスの人たちも招待され、全員で15人ほどが集まりました。招待されて、一緒にスポーツをしたり、ご飯を食べたりしました。そこで協会の中を見せてもらったのですが、ステンドグラスがあり、とてもきれいだったことを覚えています。日本では、あまりないことだと思い、文化の違いを実感することができました。

☆気候・天候について

留学に行った頃の8月は、半袖のTシャツ、7分丈のズボンでも過ごせるほど暖かかったです。9月ごろもまだ温かさが続きましたが、10月ごろになると寒くなってきます。しかし、11月にもなるとさすがにコートなどが必要になりました。ロシアは風が冷たいより痛いと感じることが多かったです。手袋もないとつらかったです。ブーツを持ってこなかったのもロシアで買いました。中国人市場があるのですが、そこで防寒具をいろいろ買ったりしていました。日本に帰ってから気づいたのですが、ロシアの部屋の中は本当に温度が高く、あったかいです。寮の部屋やお店、学校なども暖かかったです。日本の家に帰ってきて一番にこのことに驚きを感じました。

☆最後に

今回行くかどうか悩んでいた派遣留学に参加して、ロシアに行って本当によかったと思います。語学力が上がったこともそうですが、最初の行く目的としていた人の目を気に

しすぎないことは、帰ってきてから感じましたが、少し変わった気がします。これを機会にさらによくなっていきたいです。それだけでなく、様々な国の人と交流もでき、仲良くなれてよかったですし、何より一緒に留学に行った人たちととても仲良くなれました。4か月という経験したことのない長期間の留学で、大変なことも多くありました。しかし、いろいろな人の助けのおかげ無事留学を終え、帰ってこられました。そして、いつになるかはわかりませんが、またロシアに行きたいです。

